

平成28年3月9日

三重交通のバス停留所が装いも新たに生まれ変わります！

バス停留所のデザインを28年ぶりにリニューアルします

三重交通株式会社(代表取締役社長：雲井敬、本社：津市中央1番1号)では、訪日外国人旅行者の増加や伊勢志摩サミットの開催を機に、お客様の利便性ならびに路線バスのイメージの向上を図るべく、バス停留所のデザインを一新する事といたしましたので、お知らせいたします。

現行のデザインは昭和63年に採用されたもので、更新は28年ぶりとなります。

今回の更新では、停留所のシンボルである標識については、カラーをこれまでの『青色』から、三重交通路線バスと、4月に導入予定のICカード「emica」の基調色であり、「自然、山、森林、温もり」など三重の土地柄をイメージさせる『緑色』に変更いたします。

そして、外国人やお子様、路線バスに不慣れな方にもご利用し易いよう、ユニバーサルデザイン化を推進するため、バスのピクトグラム(案内用図記号)を加えたほか、これまで原則として停留所名は漢字のみで表示していましたが、新たに「かな表記」と「英字表記」を加えております。

なお、時刻表示板についても、これまでのプラスチック製を取り止め、見た目と耐久性に優れたアルミ製を採用いたします。

詳細については下記のとおりです。

記

1 対象停留所

三重交通・一般路線バスの全停留所 (約2,500箇所・約4,000本)

※一部の高速バス、コミュニティバス、特殊な形状の停留所等を除く

2 実施時期

順次取替えを行い、今春中には全ての更新を完了する予定です。

3 デザイン

新デザイン



旧デザイン

